

記載例

(別添4-3)

修了評価結果一覧表

当該コースの終了日

法人・団体名	〇〇〇〇〇株式会社	講習事業の名称	〇〇〇〇〇〇〇〇〇				
コース名	第〇回	開講日	R4年5月〇日	終了日	R4年6月〇日	確認テスト(修了評価)実施日	R4年6月〇日

上記のコースにかかる修了評価の結果については、以下②に記載のとおりであった。

修了評価者(自筆署名) _____

◆修了評価結果

受講者番号	受講者氏名	① 事業者事前確認事項			② 修了評価者確認事項			最終評価日	備考	
		講義科目の履修確認	演習科目における技術等の修得確認		確認テスト(修了評価)における知識・技術の修得確認		最終評価			
			4 () 福祉用具の活用	6 福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成	確認テスト(修了評価)の結果	補習の必要性	補習の実施日			
****	〇〇 〇〇	担当講師確認済	〇講師修得確認	△△講師修得確認	全科目修得	不要		修了可	R4年6月〇日	
****	△△ △△	担当講師確認済	〇講師修得確認	△△講師修得確認	全科目修得	不要		修了可	R4年6月〇日	
****	□□ □□	担当講師確認済	〇講師修得確認	△△講師修得確認	2(1)、3(4)未修得	要	R4年6月△日	修了可	R4年6月△日	レポート補習により修得確認
****	〇△ □□	担当講師確認済	〇講師修得確認	△△講師修得確認	2(2)、3(2)~(5)、6未修得	要		修了不可	R4年6月〇日	レポート提出なし

事業者は、「確認テスト(修了評価)」を実施する前に、出席簿及び各科目を担当した講師より、受講者が全科目において、所定時間及び各科目の講義・演習内容を良好に履修したことを確認しておくこと。

演習科目を担当した講師から、演習を行う中で、受講者が技術等を修得したことについての確認を行い、当該科目の担当講師名及びその結果を記載すること。

「確認テスト(修了評価)」において、知識・技術の修得基準に達しなかった科目がある場合は、当該科目の科目番号を記載すること。

修了評価者は、「確認テスト(修了評価)」の結果、補習等の状況及び最終評価等について記載し、修了評価者の署名欄に氏名を署名した上で、事業者に報告すること。